

ハーモニーⅣ 令和5年度実績及び令和6年度目標値一覧【基本目標Ⅰ】

【資料1】

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
Ⅰ あらゆる分野における	1 政策男女・共同参画の推進における	審議会等附属機関への女性登用率	25.82％ (令和３年度)	↗	27.0%	24.5%	目標値に届かなかった。 審議会等の改選時において、引き続き、全課を対象に小牧市女性人材バンクの積極的な活用を促し、女性委員の登用について働きかける。	27.0%	多世代交流プラザ
		女性人材バンクの新規登録者数	５人 (令和２年度)	↗	5人	1人	目標値に届かなかった。 さまざまな分野において活躍している人材を女性人材バンクに登録するように働きかける。	5人	多世代交流プラザ
		こまき市民交流テラスが関わった活動への参加者数	323人 (令和２年度)	↗	600人	1,056人	R5年度は、「こどものまち」や「こどもの日こいのぼり作り」をはじめとした事業に多数の参加があったこと。ボランティア情報のLINE配信を開始し、ボランティアマッチング数が増加したこと等により、指標の増加につながった。 今後も市民活動をはじめ、地域活動、生涯学習活動など幅広い活動の支援を行う必要がある。	1,200人	支え合い 協働推進課
		ウィメンズネットこまきの加入団体数	11団体 (令和３年度)	↗	13団体	12団体	組織改編を行い、加入団体がウィメンズネットこまきに加入する魅力を感じ、実感できることに注力していく。	15団体	多世代交流プラザ
		男女共同参画普及員の活動実績数	11件 (令和２年度)	↗	35回	80回	地域での講座開催・講演会等チラシの回覧を行っていたが、目標値に到達した。引き続き、活動していただけるよう依頼を行っていく。	90回	多世代交流プラザ
	2 働く場における	事業所に対する講座の実施数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	２回 (令和３年度)	↗	3回	3回	以下講座を実施し、目標値に到達した。 ・自分のイライラと上手に付き合うアンガーマネジメント講座 ・女性の健康課題について学ぶ講座 ・性の多様性について	4回	多世代交流プラザ
		課長級以上の女性の割合（一般事務職） ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	10.0％ (令和２年度)	↗	13.0%	12.4%	昨年度と比較し微増となった。しかしながら、能力を有しながらも管理職、その前段階の職への昇給を望まない女性が男性より多い。	13.0%	人事課
		職員に対する研修の実施数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	１回 (令和３年度)	↗	1回	1回	人事課主催の研修カリキュラムに基づき、職員に対する研修を行った。引き続き職員に対する研修を行っていく。	1回	多世代交流プラザ
		労働講座受講者数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	22名 (令和２年度)	↗	25名	34名	◆愛知県と共同で開催した労働講座においてテーマを「第1部 働き方改革に向けて」「第2部 中小企業に求められるハラスメント対策」とし、働き方改革のポイントや活用可能な助成金について周知を図った。 ◆アンケート結果は概ね良い意見だったが、一方で、内容が難しかったとの意見もあったため、次回以降、視覚的に見やすい資料作成に努めていく必要がある。	35名	商工振興課

ハーモニーⅣ 令和5年度実績及び令和6年度目標値一覧【基本目標Ⅰ】

【資料1】

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
る 女 性 の 活 躍 の 促 進	男 女 平 等 の 促 進	働く女性に対する支援の実施数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	3回 (令和3年度)	↗	3回	4回	以下講座を実施し、目標値に到達した。 ・ママ・ジョブ・あいち個別おしごと相談 ・主人公はあなたです！起業女子の世界をのぞいてみませんか？ ・花王ビューティーセミナー ・SNSを活用したい人のための基礎講座（初級） 令和6年度も、引き続き、包括連携協定に基づいて、企業から提供いただく講座等を行う。	4回	多世代交流プラザ
		女性（20～50歳代）の労働力率 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	79.4% (令和2年国勢調査)	↗	80.0%	—	◆ママジョブあいちと協働し市役所内で令和6年1月30日に働く女性の再就職出張相談を行った。 ◆「あいち子育て女性再就職サポートセンター」チラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ハローワーク春日井でのマザーズコーナーについて市HPでの掲載を継続して実施した。 ◆出張相談では、再就職に向けて何から手を付けたらよいかわからなかったため参考になったとのことだった為、今後も継続していく必要がある。	80.0%	商工振興課
	3 仕 事 と 生 活 の 調 和 （ ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ パ ラ	市役所における男性育児休業取得率 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	15.69% (令和2年度)	↗	50.0%	47.8%	昨年度と比較し微増となった。職員への定期的な周知や、取得経験者の増加等により、男性育休の取得意識が醸成されつつあると考える。引き続き取得しやすい職場環境を整えるとともに、周知を図っていく。	50.0%	人事課
		ファミリーフレンドリー企業の登録数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	19件 (令和3.11.16時点)	↗	20件	21件	◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動（市HP掲載）を継続して行った。 ◆「あいち仕事と生活の調和行动計画」を商工振興課窓口にて配布した。 ◆チラシの配布、ポスターの掲示、HP掲載により周知を図れた。今後も引き続き周知を図っていく必要がある。	22件	商工振興課
		介護保険地域密着型サービス施設の整備数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	26箇所 (令和2年度)	↗	27箇所	27箇所	第9期小牧市高齢者保健福祉計画に基づき、令和7年度中に整備予定です。	27箇所	介護保険課
		子育て支援室の一時預かりの延べ利用者数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	373人 (令和2年度)	↗	1,500人	2,251人	令和5年度は無料クーポン券の配布や利用料金の引き下げなどで利用者が増加した。親子が安心して預けられる環境を整え、今後も保護者のニーズに答えていく。	2,500人	子育て世代包括支援センター
		幼稚園の預かり保育の延べ人数 ➤小牧市女性活躍推進計画該当施策	52,564人 (令和2年度)	↗	48,471人	49,043人	子どもの減少に伴い、利用者数も減少傾向にあるが、需要に対応するための人材確保が課題となる。	47,114人	幼児教育・保育課

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
Ⅱ 男女共同参画社会の形成に向け	1 男女共同参画意識の普及・啓発	男女共同参画に関する啓発誌の発行回数	4回 (令和2年度)	↗	3回	2回	次のとおり啓発紙を発行したが、目標値に届かなかった。 ・「かすたねっと」(年1回発行) ・「はばたけ未来へ 自分らしく生きていこう」 啓発紙「かすたねっと」は広報こまきに折り込み配布しているが、「広報こまき」の発行回数を月2回から1回に見直したのに合わせ、年1回に変更とした。 ホームページには引き続き電子媒体を掲載し、SNSやデジタルサイネージ等を用いて市民への周知を図る。それに伴い、発行部数は削減する。また、啓発誌の発行回数は減ったが、男女共同参画について多くの市民に、関心を持っていただけるよう男女共同参画啓発及び講座や講演会についても、新たにSNSやデジタルサイネージ等を用いて周知を図る。	3回	多世代交流プラザ
		固定的な性別役割分担に反対する男性の割合	45.4% (令和2年度)	↗	82.0%	77.2%	男女共同参画普及員研修会・男女共同参画基礎講座等により、固定的な性別役割分担について、理解を深めることができたが、目標値には到達しなかった。 今後も意識啓発を促す講座等を行っていく。	82.0%	多世代交流プラザ
		男女共同参画に関する講座・講演の参加者数	559人 (令和2年度)	↗	2,000人	2,522人	男女共同参画意識の高揚を図ることを目的とした各種講座を開催し、目標値に到達した。 ・講座 1,618人 ・講演会 480人 ・名画鑑賞会 424人 令和6年度も引き続き、魅力ある講座の企画運営や効果的な周知を行っていく。	2,600人	多世代交流プラザ
		子育て支援室各種講座への男性の参加人数	125人 (令和2年度)	↗	300人	242人	令和6年度も引き続き、男性の育児参加を促す魅力ある講座の運営企画や効果的な周知を行い、参加者数の増加を図る。	300人	子育て世代包括支援センター
		普及員設置区数	33区 (令和3年度)	↗	27区	27区	区から地域協議会が設立されている地域では普及員を配置せず、その活動を地域協議会へと移譲することとの要望があるが、普及員の数は令和4年度は43人、令和5年度は49人、令和6年度は56人と実績は毎年伸びているため、改定に向けた検討の折には、男女共同参画普及員のあり方も含め検討することとする。	30区	多世代交流プラザ

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
た 意 識 改 革 ・ 教 育 の 推 進	2 子 ど も に と つ て の 男 女 共 同 参 画	将来の夢や目標を持っている子どもの割合	82.4% (令和2年度)	↗	85.0%	79.8%	「今は、夢を持っていない」と回答した割合は、小5年の11.5％に比べて、中2年22.8％、高1年26.4％と非常に高くなっているが、これは小学生が憧れとしての夢を描いているのに対して、自己理解が深まる中高生は実現可能な夢を探し始めることが、中高校生がなかなか夢が持てない要因の一つとなっていると考えられる。こどもたちが夢へのチャレンジ精神を育めるよう、こども・夢チャレンジ推進事業を充実させていく必要がある。	85.0%	こども政策課
		男女共同参画に関する講座・講演の実施中学校数	2校 (令和元年度)	↗	3校	3校	令和元年度より希望した中学校のみで出張講座を実施していたが、すべての中学生が在学中に講座を受講できるよう令和5年度からは毎年3校ずつの輪番制として実施することとした。	3校	多世代交流プラザ
		生と性のカリキュラムの実施 (小学校・中学校＋高校)	23校 (令和2年度)	↗	27校	27校	新型コロナウイルス感染症も5類となり、これまで通りの実施に近い状態での実施となり、R5年度は小学校16校、中学校8校、高校3校の27校で実施し目標値を達成した。	27校	保健センター
		生と性のカリキュラム（2時間）の完全実施校数	13校 (平成30年度)	↗	17校	22校	完全実施した学校は、小学校14校、中学校8校。それ以外の小学校2校、中学校1校は特定学年のみ完全実施した。 生と性のカリキュラムは小中学校全学年で2時間計画されており、完全実施に向けて取り組んでいる。児童生徒の現状を踏まえ、令和5年度は改定に向け、指導内容を見直し、指導案を作成した。令和6年度は市内全小中学校で完全実施できるよう取り組んでいきたい。	25校	学校教育課
		職業体験実習の実施（中学校）	9校 (平成30年度)	↗	9校	9校	キャリア教育の柱として、全中学校で当初から計画・準備をしていた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依頼できる事業所が以前より少なく、やむを得ずテーマパークを適用しての体験となった学校もあった。 準備における職業人講話や、体験予定だった職場の方との打ち合わせを通して、働くことの意義や苦勞、やりがいについて深く学び、自己のキャリア形成につなげることができた。	9校	学校教育課

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
Ⅲ 安心して暮ら	1 複合的に困難な状況に置かれている人々への支援	地域包括支援センターで受ける総合相談件数	10,916件 (令和２年度)	↗	14,000件	12,674件	新型コロナウイルス感染症流行前の平成30年度時点において市全体の総合相談件数は14,383件、令和5年度は12,674件であった。コロナ禍の影響は薄れて相談件数も増加傾向にあるが、平成30年度比で88.1％に留まっている。引き続き、アウトリーチや普及啓発等に努め、コロナ前の相談件数を目指すこととする。	14,000件	地域包括ケア推進課
		福祉施設から一般就労への移行者数（累計）	16人 (令和２年度)	↗	93人	83人	就労移行支援等の推進により、障がいのある人の福祉施設から一般就労への移行者は増加している。引き続き、支援体制の確保、サービスの質の向上を図っていく。	115人	障がい福祉課
		遺児手当受給者数	1,185人 (令和２年度)	→	1,123人	1,031人	受給者数は、基準値（令和２年度）から微減している。支援が必要なひとり親世帯に対して、適切な案内及び支給事務を行っていく。	1,031人	こども政策課
		ひとり親相談の延べ件数	965件 (令和２年度)	↗	1,000人	894人	支援ニーズに対して、適格なアセスメントに基づく一貫性・継続性のある支援を提供した。	1,000人	子育て世代包括支援センター
		民生委員・児童委員の相談・支援件数	4,900件 (令和２年度)	↗	6,300件	6,684件	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の５類に移行し、地域住民に接する機会も増え、より身近で気軽に相談できる環境づくりを進めることができた。今後も繋ぎ役として幅広い活動を目指す。	6,800件	福祉総務課
		外国人相談件数	11,351件 (令和元年度)	↗	12,900件	11,868件	外国人が多く来庁する窓口に、担当課付けの通訳・相談員の配置が進み、当室に直接寄せらせる相談数は横ばいである。今後、他課の通訳・相談員同士の横のつながりを強化していく。合わせて、タブレット等で多言語対応していることの周知を進めていく。	12,900件	多文化共生推進室
	2 男女共同参画の視点からの防災の取組	地区防災訓練実施に伴う女性の参加率	50％ (令和３年度)	→	50.0%	34.8%	地域に昔から住む男性が中心となるイメージを持ち、女性が参加しにくい現状がある。女性が担う役割があることを継続して周知する必要がある。	50.0%	防災危機管理課
		女性消防クラブ指導者科入校者数	9人 (令和元年度)	→	8人	7人	体調不良等により２名欠席となった。昨年度の目標値について基準値を下回る８名としていたが、これは役員の1名が男性であったことによるものである。よって、令和6年度の目標値は基準時の9名の戻し、災害時に女性が活動できる知識・技術を習得するため、婦人消防クラブ連絡協議会役員に女性消防クラブ指導者科への参加を働きかける。	9人	消防総務課
		職員及び地区の防災訓練において男女共同参画の視点に基づいた避難所運営の啓発等を実施した回数	36回 (令和２年度)	↗	60回	77回	訓練の都度、避難者が避難所を運営していくことを伝えている。その中で男女共同による運営は避難所での男女の立場の違いによる問題や性被害等の問題の発生を防ぐことにつながる。そのため、運営の役割分担を適切に行うことが重要であることを啓発している。今後も小学校区の防災訓練等で継続して啓発を行っていく。	60回	防災危機管理課

ハーモニーⅣ 令和5年度実績及び令和6年度目標値一覧【基本目標Ⅲ】

【資料1】

基本目標	施策の方向	指標項目	基準値 (年度)	目指す 方向	目標値 (令和5年度)	実績 (令和5年度)	現状分析、課題	目標値 (令和6年度)	担当課
つ せ る 環 境 づ く り	3 人 権 に つ い て の 予 防 ・ 対 策 認 識 と 人 権 侵 害 へ の	人権教室の実施校数	〔 3 校 〕 小学校1 中学校2 (令和元年度)	↗	3 校 小学校2 中学校1 (保育園2)	3 校 小学校2 中学校1 (保育園2)	小牧市立の小中学校（保育園）を対象にローテーションで実施している。学校の希望に応じて人権教室を実施しており、今後も学校と生徒人数、講座方法等調整しながら実施する。	3 校 小学校2 中学校1 (保育園2)	市民安全課
		小牧市DV対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	計画期間が令和5年度末で満了になるため、パブリックコメントを実施のうえ、関係部署による会議において内容検討実施。計画内容の一部改訂を行い、小牧市DV対策基本計画（令和6年度～令和10年度）を策定した。	—	子育て世代包括 支援センター
		さまざまな人権問題に関する周知活動実施件数	3 件 (令和2年度)	↗	4件	4件	男女共同参画週間、男女共同参画月間、女性に対する暴力をなくす運動にちなみ、市内公共施設にて啓発パネル展を3件実施し、また、若年層へのデートDV防止のための意識啓発資料として「デートDV手帳」を中学校・高校へ配布し、目標値に到達した。 引き続き、周知活動を実施していく。	4件	多世代交流プラザ
		小牧市児童虐待対策基本計画に基づいて進める	—	—	—	—	—	—	子育て世代包括 支援センター
		「SOGI」について、言葉も内容も知っている 市民の割合	3 % (令和3年度)	↗	—	—	実績値を計測することはできなかったが、引き続き講座等の開催により理解が深まるよう取り組んでいく。	—	多世代交流プラザ
	4 生 涯 を 通 じ た 健 康 づ く り の た め の 支 援	ウォーキングアプリ「aiko」 ダウンロード者数	13,986人 (令和2年度)	↗	23,000人	24,610人	ダウンロード者数は、順調に増えており、また、実稼働者数についても1万人を超える方に利用いただいている状況が続き、健康づくりの習慣化につながっているものと推察する。今後に向けては、更に働き世代や子育て世代を中心とした健康づくりに時間を取りづらい世代に対し、活用していただくような取り組みを推進する必要がある。	26,500人	健康生きがい推進課
		自分自身を好きと言える市民の割合	73.0% (令和元年度)	↗	80.0%	—	秘書政策課の市民意識調査を健康日本21こまき計画の指標項目としていましたが、R5年度より指標項目に挙げておらず指標値として把握できず	—	保健センター
		子宮がん検診（集団・個別）受診率	3.4% (令和2年度)	↗	3.9%	4.0%	目標値を上回った。令和5年度は、協会けんぽ特定健診と小牧市子宮がん検診の共同開催を実施した。令和6年度は、子宮がん検診と乳がん検診の同日開催日（集団）を設定し、受診率向上を目指していく。	4.1%	保健センター
		乳がん検診（集団・個別）受診率	3.8% (令和2年度)	↗	4.3%	4.3%	目標値に到達した。令和5年度は、協会けんぽ特定健診と小牧市乳がん検診の共同開催を実施した。令和6年度は、子宮がん検診と乳がん検診の同日開催日（集団）を設定し、受診率向上を目指していく。	4.4%	保健センター
		利用者支援事業相談件数	1,305件 (令和2年度)	↗	2,000人	1,948人	妊婦・産婦、子ども及び保護者等の選択に基づき教育・保育・保健等の子育て支援サービスが円滑に利用できるよう必要な支援を行った。	2,000人	子育て世代包括 支援センター